ボーリング柱状図

調　査　名　災害関連緊急砂防事業に伴う測量・設計業務委託（大坪川）

事業・工事名

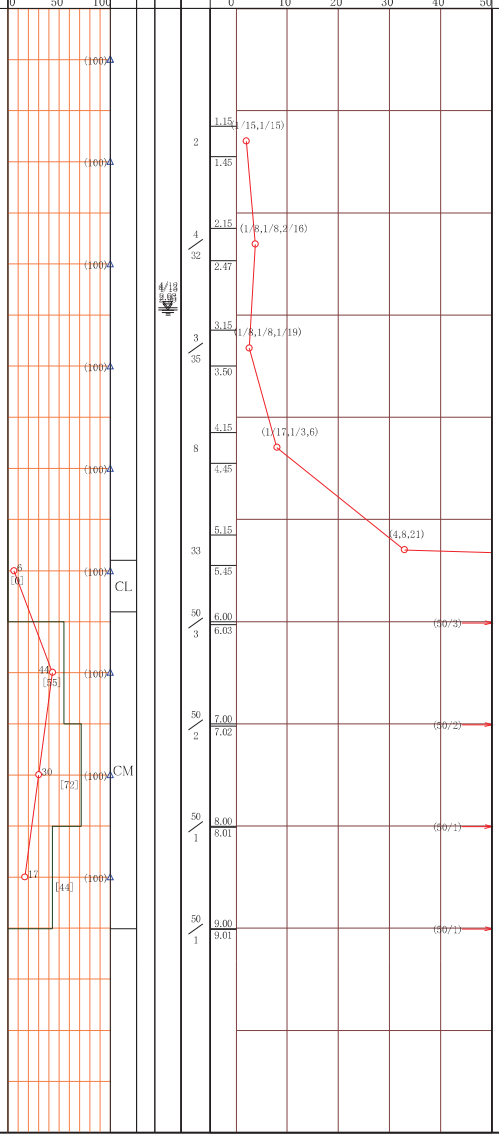
ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	No.2（本堤中央）	調査位置	広島県呉市広白岳　地内	北緯	34°13’17.26″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成 31年 4月 10日 ～ 31年 4月 日	東経	132°38’39.63″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
				コア鑑定者	
				ボーリング責任者	
孔口標高	40.16m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総掘進長	9.00m	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 20°	使用機種	
試錐機	YBM-05				
エンジン	ヤンマーNFAD9	ポンプ	BP-55		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	孔内水位(m)／測定月日	原位置試験	室内試験
1	38.41	1.75		礫混じりシルト質砂	暗褐灰	E	VI				無水掘削で砂状～円筒状に採取される。 礫径2～4mm程度の結晶片岩から構成され、硬く、指圧では潰せない。 礫含有率は5%程度である。砂は細砂で構成され、乾燥している。			
2	36.26	3.90		シルト混じり砂礫	褐灰～暗褐	E	VI				送水掘削で円筒状に採取される。 軟質で指圧で容易に砂礫状。砂は細～粗砂。 礫は径2～4mm程度の結晶片から構成され、含有率は10～20%程度である。 シルトが全体に多く混じる。含水中位。	4/12 9:00		
4	35.81	4.35		礫混じり粘土質砂	暗褐灰	E	VI				軟質円筒状コア。含水大で粘性やや有。 礫は径1～3mm程度の結晶片から構成され、含有率は10%程度である。			
5	34.76	5.40		玉石混じり砂礫	淡灰～淡褐	E	VI				長径15cm程度の玉石を混入する。 礫は硬質であり、泥岩、花崗斑岩からなる。 玉石間に径5mm程度の結晶片と中砂が充填し、ゆるく分布する。 含水は中位である。			
	34.26	5.90		風化花崗岩	灰・白・桃	C	III	b	β	1	送水掘削で棒状コア。岩石組織は明瞭。 ハンマーで叩くと濁音がし、部分的にナイフが刺さる。			
6				花崗岩	灰・白・桃	B	II	c	α	1	送水掘削で棒状に採取される。 岩石組織は明瞭で、ハンマーで叩くと金属音がする。 6.65～6.85mに45～80度の亀裂が見られ、充填物が確認できる。 7.15m、7.6m、8.6m付近に45度程度の2方向の亀裂が見られ、充填物が確認できる。			
9	31.16	9.00												

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]　0 50 100



岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	N値	ルジオン標準貫入試験 (P～QN値～深度) 図 [ ]：ルジオン値 ( )：換算ルジオン値 《》：限界圧力	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1/分)	排水量(1/分)
		2	1.15 1.45 (1/15,1/15)	4/10	600	86／ケーシング	SC/MB	0.2	70	0	無水／0	0
		4/32	2.15 2.47 (1/8,1/8,2/16)		330			0.2	70	0	無水／0	0
		3/35	3.15 3.50 (1/8,1/8,1/19)		318			0.2	70	0	無水／0	0
		8	4.15 4.45 (1/17,1/3,6)		300			0.2	70	0	無水／0	0
		33	5.15 5.45 (4,8,21)	4/12	110		WC/DB	0.2	220	0.1	清水／10	10
CL		50/3	6.00 6.03 (50/3)		55			0.2	220	0.1	清水／10	10
		50/2	7.00 7.02 (50/2)		97			0.2	220	0.1	清水／10	10
CM		50/1	8.00 8.01 (50/1)		98	66		0.2	220	0.1	清水／10	10
		50/1	9.00 9.01 (50/1)	4/13	99			0.2	220	0.1	清水／10	10